

ご存知ですか?

睡眠時無呼吸症候群 (SAS)



SpO₂が約**70%**

血中酸素飽和度(SpO₂)がエベレスト山頂にいるときと同程度に低下する人もいます*3



交通事故を起こすリスク*2

7倍

4人に**1**人



日本の成人男性の**4**人に**1**人は**SAS**とされています。*2



120秒

1回の無呼吸で最長**120**秒間息が止まる人もいます。*1



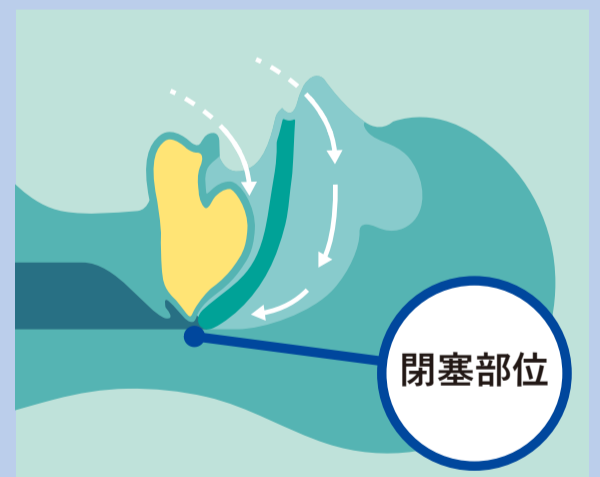
約**2**倍

高血圧や糖尿病になるリスク*4



睡眠時無呼吸症候群 (SAS: Sleep Apnea Syndrome) とは、

睡眠中に呼吸が止まる、または浅く・弱くなることで、日常生活に障害を引き起こす疾患です。夜間に繰り返し起こる無呼吸・低呼吸により、血液中の酸素が低下したり、頻繁に中途覚醒が発生し、高血圧・脳卒中などの生活習慣病を合併するリスクが高くなります。また、睡眠の分断は日中の眠気・集中力の低下を引き起こします。



ご自宅で簡単に、SASの検査を受ける方法があります

SASの在宅検査では簡易的な機器を使用し、ご自宅で一晩睡眠中の呼吸状態や血中酸素濃度などを記録し、無呼吸の評価に役立てます。右図のような検査機器を装着しておこなう、とても簡単な検査です。



SASの検査については医療機関にご相談ください

